

平成 29 年度 ビジネス情報 シラバス

校長	教頭	教頭

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
ビジネス情報	2	3	全	選択	商業科

1 概要および目標

- (1) ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。
- (2) ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなどエンドユーザコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。

2 成績評価

定期考査、小テスト、検定試験、および提出物等を総合的に判断し評価する。

定期考査	70%	小テスト	10%	検定試験	10%	提出物等	10%
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

3 使用教科書・教材

ビジネス情報 (322 実教出版)

4 観点別評価の趣旨

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価規準	ビジネスの諸活動において、情報を主体的・積極的に活用しようとする意欲と態度を持っている。	適切な手段を用いて情報を収集・処理したり、要求に応じた適切なシステムを開発するなどの思考・判断力を身につけている。	ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析、システムの開発、ネットワークのこうちくなどの技能を身につけている。	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。

5 授業の展開と形態

パソコンを使って教科書の基本的な内容を説明し、問題等をさせながら授業を展開する。
年に 2 回ある情報処理検定試験に向けて、資格取得を目指すための対策を行う。

6 学習方法

ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について関心を持ち、ビジネス情報を適切に分析、処理して活用していく。その情報を収集、処理するために具体的なデータを用いて、実践的な実習をおこない処理された情報を分析する。

主に表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアなど適切なソフトウェアを用いて、ビジネスで活用できるシステムを作り出す。ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、それを実践するための知識を身につけるために学習を展開していく。

7 その他 (履修上の注意)

パソコン教室の使用上の注意事項 (マナー) を守ること。

「ビジネス情報」学習計画

学期	月	単元	学習内容・目標	備考 (他教科・特別活動との関連など)	時数
1 学期	4	1 情報化と社会 (1)業務の情報化 (2)エントユーザコンピュータ (3)インターネットと新しいビジネス	ビジネスにおける情報化の推進に関する基本的な知識を習得させ、この科目を学ぶ目的やねらいを理解させる。	情報処理検定に関連する内容を1年を通じて学習する。 「情報処理」の学習と関連。 「会計」の学習と関連。	4
	5	2 表計算ソフトの活用と分析 (1)さまざまな集計 (2)最適解とシミュレーション (3)グラフの利用と回帰分析	表計算ソフトウェアを用いてさまざまなビジネス情報の分析を活用するための知識・技術を身につけさせる。	「商品と流通」「マーケティング」の学習と関連。	16
	6	(4)販売情報の分析 (5)財務情報の分析		「プログラミング」の学習と関連。	
	7	3 表計算ソフトの自動化処理 (1)自動化と記録マクロ (2)マクロの記述	表計算ソフトウェアのマクロ機能を用いて、日常の業務を自動化するための知識・技能を習得させる。		8
2 学期	9	4 データベースソフトウェアの活用	リレーショナルデータベースを作成し、活用するための知識・技術を習得させる。	「情報処理」の学習と関連。	12
	10 11 12	(1)データベースの役割と活用法 (2)データベースの作成 (3)SQLでの操作		第4章(4)「データベース設計」の学習と関連。	
		5 システム開発の基礎 (1)システム開発の手順 (2)基本設計 (3)外部設計 (4)データベース設計 (5)データベースの作成 (6)テストと保守	ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識を技術を習得させる。	前章の学習と関連。 「プログラミング」の学習と関連。	16
3 学期	1 2	6 情報機器の導入と管理 (1)ハードソフトの導入と管理 (2)ネットワークの管理 (3)データ保護とセキュリティ管理	ネットワーク環境における情報機器の導入と管理に関する基礎的な知識と技術を習得させる。	情報処理検定試験が実施され、資格取得をめざす。 「情報処理」の学習と関連。	14

